

平成30年度 学校評価 (学校関係者評価書)

学校名	北海道札幌厚別高等学校
-----	-------------

外部評価 委員会
P T A役員 及び 学校評議員

1 本年度の重点目標

(1) 意欲的・継続的に自ら学ぶ態度を育てる (主体的・対話的で深い学びの実現)
(2) 思いやりの精神と自らを律する心を養う (体験的、協働的活動場面の充実)
(3) 将来を考え自ら進路を切り拓く力を養う (振り返りのためのポートフォリオ、評価の充実)
(4) 生命尊重と安全意識向上の態度を育てる (自尊感情の醸成、体験的地域連携の活用)

2 本年度の経営方針

(1) 目指す生徒像実現に向けた資質・能力等の明確化を図り、教育課程横断的にそれらの育成に向けた指導計画を立案するとともに評価の充実を図る。
(2) 生徒自身が身につけた資質・能力等を実感できる自己評価を工夫するとともに、それが自己実現の方法や根拠となるよう3年間を見通したキャリア教育の充実を図る。
(3) 北海道の教育の質の向上、とりわけ総合学科としての成果の向上に資するとともに、目指す生徒像の実現を通して地域や保護者の信頼に応える学校づくりに努める。
(4) 教職員のキャリアに即した研修、業務分担、到達目標等に配慮し、使命感や達成感の醸成に努めるとともに、心身ともに健康で十分な教育成果が得られるよう業務の精選に努める。
(5) 教育公務員としての使命感、倫理観の維持・向上に努め、社会からの信頼を損ねない学校づくりに努める。

3 自己評価結果に対する外部評価(A:十分である B:おおむね十分である C:不十分である D:改善を要する)

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適正さ	改善に向けた取組の適切さ
学校目標	学校全体として教育目標達成のため努力している	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す生徒像を明確にした指導 ・生徒の主体性を育む指導 ・教職員の協働意識をより高める工夫 	B	B
重点目標	各領域において適切な指導が実践され、生徒は充実した学校生活を送っている	A	B			
経営方針	経営方針を踏まえた上で適切に職務が遂行され、保護者や地域からの信頼が寄せられている	B	B			
外部評価者の意見等	・生徒は礼儀正しいが、少し元気がないように感じる。					
学習指導	基礎・基本を育み、学力向上及び学習意欲を高める学習指導を行っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業アンケートの活用 ・習熟度等、学習意欲を喚起する授業改善に向けた教職員意識のさらなる向上 ・観点別評価をはじめとした評価規準の見直し 	A	A
	シラバスを活用し、指導方法及び評価が適切に行われている。	B	B			
	授業の基本的しつけは適切に行われている	B	B			
	成績不振者への対応策、指導策は適切に行われている	A	A			
外部評価者の意見等	・総合学科の利点を生かしきれていない部分がある。					
生徒指導	全職員の共通理解のもとに足並みを揃えた生徒指導がなされている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS 等によるいじめやトラブル防止の取組 ・チームとして連携した指導の徹底 ・生徒情報の共有化や報連相の徹底 	A	B
	生徒の実態や状況に応じた適切な生徒指導が行われている。	B	B			
	生徒のサインや変化を見逃さず、いじめ等の未然防止に努めている。	A	B			
	家庭や関係機関と連携を密にした生徒指導を行っている	A	A			
外部評価者の意見等	・校内で物品の紛失があり、不安を感じる。					
進路指導	個人面談や三者面談を効果的に行い、保護者の期待や生徒の実態に即した進路指導がなされている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教員等による出前講座の充実 ・3年間を見通したキャリア教育計画の見直し ・模擬試験、講習のあり方について再検討 	A	B
	進路実現に係る情報や資料の収集に努め、迅速かつ適切な情報提供を行っている。	B	B			
	望ましい勤労観職業観を育て、自己理解を促す指導を適切に行っている。	B	B			
	資格取得・模試・講習を適切に推進している。	A	B			
外部評価者の意見等	・2年次から3年次にかけて、系列の学習内容がマッチした生徒は希望の進路を達成している。					

特別活動	各種行事は、生徒の意識や意欲を十分に喚起したうえで行われている	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の「目的」を意識させる指導と実施後の反省を徹底 ・音楽系部活動の運営改善 	A	B
	部活動は生徒の自己開発・自己実現が図られる場となっている。	A	A			
	活動の施設設備や予算配分は適切であり環境が整っている。	B	B			
外部評価者の意見等	・生徒の主体性を引き出すような行事の企画をしてほしい。					
健康安全指導	交通安全指導は十分に行われている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・Jアラートにも対応した避難訓練の改善など防災教育と交通安全教育の充実 	A	A
	健康安全指導は十分に行われている。	A	A			
外部評価者の意見等	・通学時の交通事故防止の指導をより強化してほしい。					
年次学級経営	生徒とその環境を理解し、一人一人を大切にした年次・学級経営が進められている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担任と教科担任等の連携の強化 ・年次内での情報共有や年次主任同士の連携強化 	A	A
	他学級や他年次との連絡が密にされ、年次・学級経営が協働体制のもとに進められている。	B	B			
外部評価者の意見等	・年次によって指導のルールが異なるように思う。統一して欲しい。					
分掌会議	分掌は適切に組織され、職務内容の明確化・均等化が図られ効果的運営がなされている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の業務内容の精選 ・反省点を放置せず、速やかに改善する取組の推進 	B	B
	会議は円滑かつ適正に開催され、PDCAサイクルによる活力ある教育活動が推進されている。	B	B			
外部評価者の意見等	・会議のために生徒の指導がおろそかになることが無いようにしてほしい。					
学校事務	道費やPTA等の予算は適切に編成されている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドライン等による学校事務の適正化 	A	A
	予算の編成・執行は職員の意見や要望が生かされている。	B	B			
	予算の編成執行は透明性が図られ、適正に進められている。	A	A			
外部評価者の意見等	・徴収金等の内訳が明確になっている。金銭事故は起こらないようにしてほしい。					
施設・設備	校舎や校舎周辺の維持管理は適切に行われている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・防災安全点検(毎月)の徹底と迅速な対応改善 ・情報機器等の更新 ・図書館利用者増を目指した工夫 	B	B
	施設設備および教材教具等の現状が把握され、整備計画が立てられている。	B	B			
	非常災害に対処する施設設備の維持管理が適切に行われている。	A	B			
	情報機器や視聴覚施設設備、図書館の充実が図られ有効に活用されている。	B	B			
外部評価者の意見等	・体育館の雨漏りが心配である。					
保護者、地域住民等との連携	本校の経営方針及び教育活動は保護者や地域社会に理解され、協力が得られている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校通信の発行と周知 ・連絡メール利用の積極的PR ・回覧板活用など町内会との連携 ・月間2回以上の学校ホームページの更新 	B	B
	生徒や保護者が本校に期待する事柄は全職員に共通理解されている。	B	B			
	家庭との連携が図られ、保護者は学校の方針を良く理解している。	B	B			
外部評価者の意見等	・地域連携について、生徒にも紹介して認識を深めてもらう工夫も必要である。					